

# メタルウエア

(金属コーティング剤)

## 用途

ステンレス・アルミ等の金属や、タイル・石材のツヤ戻し、防汚コート

## 用意する道具（作業1人分）

- ・ **メタルウエア** 1本
  - ・ ポリ容器（1～3ℓ） 1個
  - ・ 化学繊維100%の刷毛又はメリヤスウエス 1本・1～2枚
  - ・ ゴム手袋又は、ビニール手袋
  - ・ ウェス 相当数
  - ・ マスカー 相当数
- ※ 室内での作業の時、畳等必要に応じて養生して下さい。
- ・ 防毒マスク 1個
- ※ 作業中多少臭いがしますので、臭いの気になる方はマスクの着用をお勧めします。尚、作業が終了し乾燥すると臭いは消えます。
- ・ 保護メガネ 1個

## 使用量

|            |            |
|------------|------------|
| ステンレス・アルミ等 | 約20～30㎡／1ℓ |
| 素焼きタイル・石材等 | 約15～20㎡／1ℓ |

## 使用方法

1. 準備：①ゴム手袋、保護メガネ、必要に応じて防毒マスクを着用して下さい。  
②塗布には刷毛もしくはメリヤスウエスを使用して下さい。  
③作業時の容器はポリ又は金属の手缶を使用して下さい。  
④ガラス、サッシ、木製建具、植栽、車、池等飛散の恐れがある箇所及び施工しない部分にはマスカーやビニールシート等で養生をして下さい。  
⑤ホコリは乾いたウェスや刷毛等でとっておいて下さい。

カビ・サビ・油等の汚れはあらかじめ洗浄が必要です。

- ⑥施工箇所全体を十分に乾燥させておいて下さい。乾燥は自然乾燥が望ましいが強制乾燥する場合は熱をあてずに風乾(扇風機等)で行って下さい。

2. テスト：①本作業前に必ずテストをして下さい。(金属表面がコーティングされているステンレス等には使用出来ません。)
- ②なるべく目立たない箇所にメタルウエアの原液を刷毛で塗布して下さい。(5㎠程度)
- ③5～10分程度自然乾燥させて下さい。
- ④表面の余剰分を乾いたウエスで拭き取って下さい。
- ⑤変質等の問題がなければ本作業を行って下さい。

### 3. 本作業

ステンレス・アルミ・鏡面仕上げの御影石等

- ①十分に塗装面が乾燥している事を確認した上で「メタルウエア」を手缶に移し刷毛又はメリヤスウエスで浸み込ませるように均一に塗布して下さい。
- ②10～15分後、浸透せず表面に残った分を乾いたウエスで拭き取って下さい。
- ④自然乾燥を充分に行って下さい。

乾燥の目安 表面乾燥：2～3時間程度

完全乾燥：夏季－5時間 冬季－12時間程度

バーナー仕上げ御影石・素焼きのタイル等

- ①十分に塗装面が乾燥している事を確認した上で「メタルウエア」を手缶に移し刷毛又はメリヤスウエスで浸み込ませるように均一に塗布して下さい。
- ②自然乾燥を充分に行って下さい。

乾燥の目安 表面乾燥：2～3時間程度

完全乾燥：夏季－5時間 冬季－12時間程度

拭き取り作業は必要ありません。

さらに深みを出したい場合、一度でツヤが戻らない場合は乾燥後、同作業を繰り返し行って下さい。重ね塗りは2度まで。  
塗りムラがある場合は乾燥前に再度塗りなおして下さい。

## 使用上の注意

- 本製品は薄めず原液のまま使用して下さい。
- 火気の側で使用しないで下さい。※火気厳禁
- 本製品は塗料、仕上げ剤ではありません。
- 施工箇所を十分に乾燥させて下さい。(乾燥が不十分の場合、液剤が分離してしまい保護効果は期待できません)
- 施工時は晴れの日を選び雨の日は避けて下さい。
- 室内での作業については十分に換気をして下さい。
- 塗布後のドライヤー等の熱による強制乾燥は行わないで下さい。
- 塗布後乾燥前に水や湿気に当たるとくすみや、シミの原因になりますので、塗布後 6 時間程度は水分をあてないように十分注意して下さい。
- 本製品がアルミのドア等の施工部位以外に付着した場合は、速やかにその部位に保護剤をウエスに少量とり拭いた上で、更に速やかに乾いたウエスで拭き取って下さい。
- 用途以外に使用しないで下さい。

## 保管上の注意

- 直射日光を避け、子供の手の届かない屋内で常温にて保管して下さい。
- 火気の側に保管しないで下さい。※火気厳禁
- 必ず密栓し鉄缶で保管して下さい。※ポリ缶不可
- 車内での保管は絶対に避けて下さい。
- 使用した余りの本製品や、汚れの混入した本製品は保管しないで下さい。
- 他の製品と混ぜたり、水分を混入させないで下さい。
- 本製品を廃棄する場合には、おがくず、ウエス等に吸収させ焼却して下さい。